科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年期	単位数
交通英語入門１	コミュニケーションから始める 交通英語	田島　樹里奈	１年次後期	２

科目区分	専門	キーワード	接客英会話入門、交通機関の基礎英語

ディプロマポリシーとの対応	2.　交通産業および関連分野での基礎能力(（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力
カリキュラムポリシーとの対応	1.　一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2.　交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける
事前に受講するとよい科目	交通概論、基礎英語
オフィスアワー	月・火・土（時間は事前に相談して下さい）
講義の目的	本授業の目的は、これまでの学習内容を活用しながら、交通英語に必要な基礎力を身につけることである。そのために、まずは「交通英語」がどのようなものなのかを知り、少しずつ交通英語に必要な単語やフレーズを学びながら、語彙や表現力を増やしていく。接客に必要なリスニング力を鍛えるため、繰り返しリスニングやディクテーションを行い、耳を鳴らしていく。
到達目標	⑴ 英語の基礎を復習しながら、交通に関わる語彙を増やす。 ⑵ 将来、現場で使うことを想定しながら、実用的な表現法を学び交通英語に慣れる。 ⑶ リスニング力を強化し、複数回聞けば、会話の主旨をある程度正確に理解することができる。
講義内容	私たちが日常的に利用する交通機関では、様々なコミュニケーションが交わされている。日本語では難なく説明できることも、突然英語で尋ねられて言葉が出てこなかったという経験をした人もいるだろう。この授業では交通に関わる語彙力をつけながら、日常で使える交通英語を学んでいく。 また、受講生の様子を見ながら適宜要望を聴取し、臨機応変に対応していく。

講義スケジュール

	タイトル	内容
第１講	イントロダクション	交通英語とビジネス英語
第２講	基礎フレーズ①	覚えておきたい接客表現
第３講	基礎フレーズ②	接客中に困った時の表現・聞き返す時の表現
第４講	鉄道に関する基礎表現①	列車の種類・駅構内の施設
第５講	鉄道に関する基礎表現②	切符の種類とその説明
第６講	数字・お金の表現①	運賃を聞かれたら…
第７講	数字・お金の表現②	お金の表現法をマスターしよう
第８講	前半の復習	接客表現の使い回し
第９講	駅でのお客様対応①	電車の行き先を聞かれたら
第10講	駅でのお客様対応②	乗り換えについて聞かれたら
第11講	駅でのお客様対応③	電車の発車時刻・到着時刻を聞かれたら
第12講	時間の表現	時間の表現法をマスターしよう
第13講	交通系・必須表現①	所要時間を聞かれたら
第14講	交通系・必須表現②	目的地までの行き方を聞かれたら
第15講	まとめ	質問に簡潔に答えるための表現

指導方法	日常生活や将来の業務で使用できる簡単な英会話表現を身につけるため⑴使い易いフレーズを繰り返し発話しながら練習する（ペアワークやグループワークを含む）。⑵必要に応じて文法事項の復習をする。⑶定期的に小テストを行うことにより自分自身の定着度合いを確認する。
事前学習	分からない単語などは授業前に調べ、前回までの復習をしっかりしておくこと。自宅で学習する際は、できるだけ声に出して発話（音読）練習をすること。1 時間 30 分程度の学習時間が目安です。
事後学習	文法事項などで分からない部分は放置せずに遡って復習をすること。定期的に単語などの小テストを行うので、８割以上の得点を目指して学習すること。英語に限らず、週 1 回の授業だけでは語学を習得することはできません。積極的に英語に触れ、定期的な学習を心がけて下さい。1 時間 30 分程度の学習時間が目安です。
成績評価方法	本試験(筆記試験)：50(%)、平常点：小テスト 20(%)、授業内課題・発言 30(%)。 授業への積極的な参加を重視する。
テキスト	適宜、プリント教材や資料を配布する。
参考書籍	授業内で適宜紹介する。
実務家教員による授業	教員経歴	
特記事項	声に出して発話することを習慣づけ、日々の継続的な学習を心掛けることで必ず力が付きます。 原則、前期と同じ担当教員のクラスを受講すること。その他詳細は、Classroom にて指示します。